

避難訓練 評価報告書

作成日：2013年12月20日
作成者：学校法人木の実学園
木の実幼稚園
理事長 中矢謙一郎

<総評>

昨年に引き続いて2度目となるこの度の避難訓練は、避難先である垣生中学校はもとより、垣生地区の自主防災会連合会や交通安全協議会、垣生駐在所より御理解と御協力を賜れたおかげで執り行えたものであり、まずは地域の方々へ感謝申し上げます。

また、今年度は垣生中学校の先生方と中学2年生の皆さんのご協力により、中学2年生が年少児（3歳児）104名を校舎4階の多目的スペースまで避難させるという合同避難訓練の形式を取れ、子どもたちが新たな体験をできたことが非常に大きな収穫であった。

避難訓練は、上述の各会の方々が生徒の避難ルートの要所に立って頂けたおかげで、今年も事故なく無事垣生中学校へ到達できた。また、避難にかかる時間を昨年度より短縮できたことは昨年の結果を受けた改善が活かされ結果であり、収穫であった。

<記録①：避難開始から垣生中学校到達までに要した時間>

昨年度： 第1グループの先頭到着 ⇒ 41分（参考1）
第2グループの先頭到着 ⇒ 27分（参考2）

今年度： 先頭の到着 ⇒ 21分
最後尾の到着 ⇒ 26分

結果： 昨年の第1グループと比べ『20分の時間短縮』
昨年の第2グループと比べ『6分の時間短縮』

（参考1）各学年がクラス毎に隊列を作って移動したグループ
（参考2）年長児（5歳児）と年少児（3歳児）がペアになって移動したグループ

<今年度の避難が昨年度の時間より短縮できた要因>

①昨年の第1グループと比べ大幅に時間を短縮できた要因は？

⇒ 昨年度の訓練終了後の反省会で「(年長児と年少児をペアにすると)年長児が引

っ張っていきこうとする意志があり、年少児の歩くペースを速める効果があった。」や「年長と年少のペア歩行は日頃から園外保育時等で行っており、それが役に立っていると考えられる。」という評価があった為、それを参考にして隊列を組み直したことが挙げられる。

②年長児と年少児のペアで移動した昨年の第2グループと比べ、6分の時間短縮をできた要因は？

⇒ これも昨年の反省会で出てきた「信号機に到達し隊列を2列から4列に組み直す時に、2列歩行をしている隊列を4列に分解するのではなく、信号機（横断歩道）に先に到達した隊列の横に次の隊列を並べる方が早く、また、横断歩道を渡る時に工夫を行ったことが要因として考えられる。実際の避難時に信号機が作動するかどうかは不明だが、作動する場合の動きとして、今後もこの方法を継続する。

<記録②：校舎4階の避難場所までに要した時間>

中学2年生と共に午前10:47に体育館を出発し、年少児の最後尾が校舎4階の多目的スペースに到着したのは午前10:52であり、5分ほどで移動を終えられた。

当初は幼稚園児の中でも体力の最も劣る年少児が対象なので、一気に4階分の階段を登りきれるか不安が大きかったが、中学生に手を引いて引率して頂けたおかげで、止まることなくわずかな時間で4階まで避難できた。

<次年度に向けた改善点>

- ・年長1クラスと年少1クラスでペアになって2列で進む時の隊列の人数(約60名)とその長さ、年中1クラス(約30名)が2列で進むときの隊列の長さは倍ほど違うので、隊列の維持のために補助につく教職員の配置に工夫の余地がある。
- ・避難途中で隊列が間延びしたり、どこかの組が遅れて孤立したりするような場合に、どうにかして先頭に「ペースを落とすように」と伝えられるよう、各クラス担任が避難時に携帯する「横断旗」と声を使い、先頭までサインを送ることを試してみる。(携帯電話が使えない場合を想定する。)
- ・横断歩道で隊列を2列から4列に組み直して一度に大勢で渡る際の、隊列の作り方について、「年長・年少のペアの場合の作り方」と「年中の場合の作り方」の2パターンを試してみる(隊列の長さが異なる為)。

(以上)